

令和7年度 事業報告書

《事業報告及び事業報告の附属明細書》



社会福祉
法人

千葉市社会福祉協議会

目次

■令和7年度 事業報告

I 会議等 1

1 理事会	1
2 評議員会	3
3 地域福祉活動計画推進委員会	4
4 内部管理体制の基本方針の運用	5

II 重点項目 6

法人経営部門	6
地域福祉部門	7
施設福祉部門	9

III 実施事業 <法人経営部門> 10

1 経営・財務運営	
取組項目1 経営・企画・財務部門の強化<<重点>>	10
取組項目2 民間財源の安定的確保	10
取組項目3 公費財源のあり方の見直し	10
取組項目4 事業収入の安定的確保(いきいきプラザ内デイサービスセンター)	10
2 法人組織運営	
取組項目5 中長期人材採用計画の策定<<重点>>	11
3 人事・労務	
取組項目6 地域福祉部門及び施設福祉部門の人事交流の実施と職務分類の整理	11
取組項目7 職場環境整備(メンタルヘルスケアの充実)	11
4 給与制度の検証	
取組項目8 専門性の高い職務に係る処遇改善の検討	11
5 人材育成及び能力開発の推進	
取組項目9 人材育成・職員研修の充実<<重点>>	12
取組項目10 業務に係る資格の取得促進	12
取組項目11 人事考課制度の検証	12
取組項目12 目標申告・育成指導の実施	13
6 危機管理対策の拡充	
取組項目13 業務継続計画(BCP)の策定	13
取組項目14 情報セキュリティ対策の実施	13
取組項目15 感染症対策の実施	14
7 広報戦略、効果的な事業実施の検討	
取組項目16 効果的な広報戦略の策定	14
取組項目17 市との協議や効果的な事業実施のための要望活動	14

IV 実施事業 <地域福祉部門>..... 15

1 地域福祉活動計画に記載している取組項目..... 15

施策の方向性1 学びの場をつくり、福祉人材を育成する

活動計画取組項目1	ボランティア活動等の推進	15
活動計画取組項目2	福祉教育の推進	16
活動計画取組項目3	成年後見制度の普及・啓発	17
活動計画取組項目4	地区部会活動従事者に対する研修の実施	17
活動計画取組項目5	民生委員・児童委員に対する研修の実施	18

施策の方向性2 身近な地域で支援が届くしくみをつくる

活動計画取組項目6	見守り活動の促進<<重点>>	19
活動計画取組項目7	地域支えあい活動の促進<<重点>>	19
活動計画取組項目8	子どもの居場所づくりへの支援	19

施策の方向性3 いきいきと暮らせる地域をつくる

活動計画取組項目9	ふれあい・いきいきサロンの促進<<重点>>	20
活動計画取組項目10	ふれあい・子育てサロンの促進	20
活動計画取組項目11	ふれあい・散歩クラブの促進	21
活動計画取組項目12	ふれあい食事サービス事業への支援	21
活動計画取組項目13	多世代交流等の推進	21

施策の方向性4 どんな相談にも寄り添う体制をつくる

活動計画取組項目14	コミュニティソーシャルワーク機能の強化<<重点>>	22
活動計画取組項目15	地域生活課題の解決に向けた支援	22

施策の方向性5 地域の様々な団体と連携・協働する

活動計画取組項目16	権利擁護のネットワークづくり	27
活動計画取組項目17	大学と地域の連携の推進	27
活動計画取組項目18	社会福祉法人の地域における公益的な取組みの促進<<重点>>	27
活動計画取組項目19	NPO・団体との連携・協働	28
活動計画取組項目20	企業等との連携・協働	28
活動計画取組項目21	災害時の体制整備の強化<<重点>>	28

2 地域福祉活動計画外の主だった事業等	29
○ 社協だよりの発行.....	29
○ 会長表彰.....	29
○ 指定管理の研修.....	30
○ 社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習の実習生受入.....	32
○ 社協賛助会員の拡大.....	32
○ 地域ふくし力アップ助成金の活用等による地域の仕組みづくりの推進.....	33
○ ボランティアグループ育成事業.....	33
○ 団体事務局(民生委員児童委員協議会事務局)の運営.....	34
○ 団体事務局(日本赤十字社千葉県支部千葉市地区本部事務局)の運営.....	34
○ 共同募金事業への協力.....	34
○ テーマ別地域生活課題解決応援助成.....	34
○ 保育士修学資金等貸付事業.....	35
○ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業.....	36
○ 施設団体等助成事業.....	36
○ 社会福祉事業振興資金貸付事業.....	36
○ 車椅子貸与事業.....	37
○ 緊急一時的な食糧支援事業.....	37
○ 放課後児童健全育成事業.....	37
○ 千葉市子どもナビゲーター事業.....	38
○ 重層的支援体制整備事業《重点》.....	38

V 実施事業 <施設福祉部門>..... 39

千葉市桜木園	39
和陽園	41
千葉市療育センター	44
(1)療育相談所	44
(2)やまびこルーム	46
(3)すぎのこルーム	47
(4)大宮学園ひまわりルーム	48
(5)大宮学園たけのこルーム	49
(6)いずみの家	51
(7)ふれあいの家	53
(8)相談支援事業所ぱれっと	55
(9)千葉市発達障害者支援センター	56
千葉市障害者福祉センター	58
いきいきプラザ・センター	60
いきいきプラザ内デイサービスセンター	64

関連資料【組織図】

※本事業報告書は、本会定款第40条第1号及び第2号に規定する事業報告及び事業報告の附属明細書を原則、実施事業の取組項目ごとに併記して作成しています。

本書の構成

会議等

令和7年度事業計画における重点項目

実施事業

令和7年度事業を部門別に本会以下計画の取組項目に沿ってまとめています。

<法人経営部門>

「シン・経営改善計画2022」

<地域福祉部門>

「第7次地域福祉活動計画」

<施設福祉部門>

「シン・経営改善計画2022」

【 記載内容の説明 】

施策の方向性1 学びの場をつくり、福祉人材を育成する

↑

活動計画における施策の方向性

<活動計画取組項目2>

○ 福祉教育の推進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募・V基)

3,493 千円

[3,487 千円]

3,403 千円

↑
財源*

↑
令和7年度決算

↑
令和6年度決算

↑
令和7年度当初予算

※財源の表記例

市補：市補助金

会費：社協会費

共募：共同募金配分金

V基：ボランティア基金

I 会議等

1 理事会

<第1回> 令和7年6月11日(水)

- 議案第1号 令和6年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第2号 令和6年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告
- 議案第3号 令和6年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決算
- 議案第4号 令和7年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会施設長等の選任及び解任
- 議案第6号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事候補者の選任
- 議案第7号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事候補者の選任
- 議案第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員候補者の選任
- 議案第9号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会計監査人の報酬
- 議案第10号 令和7年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定時評議員会の開催
以上、原案のとおり議決

- 報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況報告
- 報告第2号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会シン・経営改善計画2022の報告
- 報告第3号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第7次地域福祉活動計画の報告

<第2回> 令和7年6月26日(木)

- 議案第11号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選定
以上、原案のとおり議決

<第3回> 令和7年12月4日(木)

- 議案第12号 令和7年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第13号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会就業規程の一部改正
- 議案第14号 令和7年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第2回評議員会の開催
以上、原案のとおり議決

- 報告第4号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会次期経営改善計画2026骨子
案について

- 報告第5号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

<第4回> 令和8年3月17日(火)

- 議案第15号 令和7年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第16号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会シン・経営改善計画2026の策定
- 議案第17号 令和8年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画
- 議案第18号 令和8年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算

- 議案第 19 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務分掌規程の一部改正
- 議案第 20 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決裁規程の一部改正
- 議案第 21 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会文書取扱規程の一部改正
- 議案第 22 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会法人印規程の一部改正
- 議案第 23 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並びに旅費に関する規程の一部改正
- 議案第 24 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正
- 議案第 25 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の旅費等に関する規程の一部改正
- 議案第 26 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会経理規程の一部改正
- 議案第 27 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事監査規程の一部改正
- 議案第 28 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会施設管理規程の一部改正
- 議案第 29 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会被服貸与規程の一部改正
- 議案第 30 号 令和 8 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約締結
- 議案第 31 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員候補者の選任
- 議案第 32 号 令和 7 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第 3 回評議員会の開催以上、原案のとおり議決
- 報告第 6 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正

2 評議員会

<第1回> 令和7年6月26日(木)

- 議案第1号 令和6年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第2号 令和7年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第3号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事の選任
- 議案第4号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事の選任
- 議案第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の選任

以上、原案のとおり議決

- 報告第1号 令和6年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告及び決算
- 報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況報告
- 報告第3号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会シン・経営改善計画2022の報告
- 報告第4号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第7次地域福祉活動計画の報告

<第2回> 令和7年12月18日(木)

- 議案第6号 令和7年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 以上、原案のとおり議決

- 報告第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会次期経営改善計画2026骨子案について

- 報告第6号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

<第3回> 令和8年3月25日(水)

- 議案第7号 令和7年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会シン・経営改善計画2026の策定
- 議案第9号 令和8年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画
- 議案第10号 令和8年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算
- 議案第11号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並び

に旅費に関する規程の一部改正

- 議案第12号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の選任

以上、原案のとおり議決

3 地域福祉活動計画推進委員会

<第1回> 令和7年5月20日(火)

- 議題（1）第7次地域福祉活動計画（令和4～8年度）の令和6年度の進捗状況について
- 議題（2）令和6年度CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の活動状況について
- 議題（3）情報交換 担い手の確保について
- 議題（4）その他

<第2回> 令和7年12月17日(水)

- 議題（1）第7次地域福祉活動計画（令和4～8年度）の令和7年度上期進捗状況について
- 議題（2）次期（社協）地域福祉活動計画の策定に向けて
- 議題（3）千葉県社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会について
- 議題（4）その他

4 内部管理体制の基本方針の運用

内部管理体制の基本方針に基づき、内部監査を実施し、適正な業務執行の確保に努めた他、以下のような取り組みを行いました。

(1) 経営に関する管理体制

法令、定款等に従い理事会及び評議員会を開催し、事務事業執行状況を適宜報告することで理事及び職員等の職務執行の適正性を確保するとともに、ガバナンス強化と透明性向上のため、独立した会計監査人による計算書類等の監査を実施しました。

(2) リスク管理に関する体制

法人全体の情報セキュリティ対策として導入したセキュリティ対策ソフト（製品名：アップガード）の安定的な運用に加え、最新の脅威動向などに関する情報セキュリティ研修を実施しました。

(3) コンプライアンスに関する体制

規律の保持について随時職員に通知するなどし、法令等の順守及び不正の未然防止に努めました。

(4) 監査環境の整備

監事は理事会、評議員会に出席し、理事等の職務執行の適法性及び妥当性について監査したほか、令和7年度の理事及び会計監査人の執行について監査を行い、令和8年6月5日に監査報告書を作成及び会長に提出し、第1回理事会、定時評議員会にて報告しました。

Ⅱ 重点項目

本会の経営資源を効果的・効率的に活用し、法人運営の基盤強化を図るために、将来を見据えた人材育成や人材確保に引き続き努めました。また、千葉市との協働事業である「福祉まるごとサポートセンター」においては、支援対象者に継続的な支援を行うため、令和7年度より新たに参加支援を実施しました。既存のコミュニティソーシャルワーク^{*}機能を活かしながら、複雑化・複合化した福祉課題に取り組み「共に手を携える地域社会の実現」に努めました。

法人経営部門

「シン・経営改善計画2022（令和4～7年度）」に基づき、以下の重点取組項目等により、人材確保を強化するとともに、職種別の人材育成計画策定に努めました。また計画期間の満了に伴い次期計画となる「ジン・経営改善計画2026（令和8～12年度）」を策定しました。

1 経営・企画・財務部門の強化 P10

法人内部の連携強化による合併相乗効果を発揮するため、経営企画部門の人員体制を強化するとともに、役員及び管理職を中心とした会議体において闊達な議論を行い、法人の課題解決に努めました。また、現行計画の進捗状況や評価を踏まえ、次期経営改善計画（ジン・経営改善計画2026）を策定しました。

2 中長期人材採用計画の策定 P11

昨年に引き続き、県社協からの受託事業「特例貸付債権管理事業」に対応した採用を行いました。

3 人材育成・職員研修の充実 P12

合併後の新たな職員像を明確化し、階層ごとに求められるスキルの提示、人材育成方針に基づき、体系的な人材育成を推進する体制整備に努めました。

※コミュニティソーシャルワークとは…

地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する“個別支援”とそれらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の“地域支援”を統合的に展開・実践する援助技術のことです。

地域福祉部門

「第7次地域福祉活動計画（令和4～8年度）」に基づき、以下の重点取組項目等により、新しい生活様式を踏まえた「つなぐ・つながる・ひろめる」地域づくりに積極的に取り組みました。

1 見守り活動の促進 P19

住民同士による日常的な見守りや安否確認等が行われるよう、新規立ち上げや活動の継続に向けた支援を行いました。

2 地域支えあい活動の促進 P19

住民同士による生活支援等の支えあい活動が行われるよう、新規立ち上げや活動の継続に向けた支援を行いました。

3 ふれあい・いきいきサロンの促進 P20

高齢者が生きがいをもって、いきいきと暮らしていけるよう、地区部会が実施するサロン活動を支援しました。

4 コミュニティソーシャルワーク機能の強化 P22

「地域共生社会」の実現に向けて、複合化・複雑化した問題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制や住民等が主体的に地域生活課題を把握して解決を試みる体制の構築を図りました。

5 社会福祉法人の地域における公益的な取組みの促進 P27

地域における公益的な取組みが広がるよう、社会福祉法人を支援しました。

6 災害時の体制整備の強化 P28

災害ボランティアセンターの体制強化のため、平時から行政とNPO等の団体との三者連携や、本会職員とともに活動できるボランティアを養成したほか、発災時には速やかに災害ボランティアセンターを設置・運営できるよう訓練を実施しました。

地域福祉部門

第7次地域福祉活動計画（令和4～8年度）」以外に、以下の重点取組項目に取り組みました。

1 重層的支援体制整備事業【千葉市福祉まるごとサポートセンター】 P38

分野・年齢・相談内容を問わず、福祉に関する困りごとを包括的に受け止める「福祉まるごとサポートセンター」では、支援対象者に必要な助言や情報提供を行うとともに、状況に応じて適切な支援機関へつなぎました。

また、複数の関係機関が連携して支援する場合には、全体のコーディネート役として関係機関の役割分担を整理し、支援プランの作成や進行管理を行いました。さらに、アウトリーチを実施し、継続的な寄り添い支援を通じて個々のニーズを丁寧に把握し、社会とのつながりを築くための参加支援事業を実施しました。

施設福祉部門

「シン・経営改善計画2022（令和4～7年度）」に基づき、環境の変化にも柔軟に対応できる自律した経営を図るとともに適切な支援を提供しました。併せて、地域福祉部門が有する人的資源と当部門が有する高い専門性と蓄積された知識・技術による物的資源の更なる融合により、千葉市における福祉の増進に取り組みました。

1 和陽園再整備に向けた取組み P41

和陽園再整備基本計画に基づき、再整備プロジェクト会議において委託事業者と共に検討を重ね基本設計を策定しました。

また、基本設計策定の後、実施設計に移行し、策定に向け鋭意検討中です。

2 療育相談所における待機期間の短縮並びに相談支援体制の充実 P44

初回問合せから初診までの待機期間の維持、短縮に向け電話連絡体制の強化や診察枠のこまめな調整を行い、医師と相談員が初回診察、受理面接に努めた結果、3月末時点では計算上3か月ですが、ケースによっては最短で1か月で対応できる状況になりました。初回待機者にも2週間以内に電話をして待機の不安感解消に努めました。必要に応じ関係機関と連携し相談支援体制の強化に努めました。

3 いきいきプラザ内デイサービスセンター安定運営に向けた利用者の確保 P64

経営の安定化に向け、稼働率の向上を図るべく、関係機関との更なる連携強化により新規利用者の獲得及び継続的な受入れを行いました。

Ⅲ 実施事業 <法人経営部門>

1 経営・財務運営

<取組項目 1 >

○ 経営・企画・財務部門の強化【総務企画課】

重点

法人内部の連携強化による合併相乗効果を発揮するため、経営企画部門の人員体制を強化するとともに、役員及び管理職を中心とした会議体において闊達な議論を行い、法人の課題解決に努めました。また、現行計画の進捗状況や評価を踏まえ、次期経営改善計画（ジン・経営改善計画2026）を策定しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
事務局会議	年 1 2 回	年 1 2 回	年 1 2 回
施設運営会議	年 1 2 回	年 1 2 回	年 1 2 回
次期経営改善計画	策定	—	策定

<取組項目 2 >

○ 民間財源の安定的確保【総務企画課】

独立行政法人福祉医療機構からの助成を受け、新規事業（緊急一時宿泊支援）の施行実施へ繋げることができました。引き続き、新たな財源の確保に向け、ファンドレイジングや遺贈、寄附などの可能性について、検討を重ねていきます。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
新たな財源開拓及び検証	1 件	0 件	1 件以上

<取組項目 3 >

○ 公費財源のあり方の見直し【総務企画課】

公費財源のあり方を見直し受託事業等の剰余金が活用できるようにするなど、自由度の高い財源の確保に努めました。

<取組項目 4 >

○ 事業収入の安定的確保（いきいきプラザ内デイサービスセンター）【総務企画課】

収支報告に関する会議体を設け、適切な経営管理を図りました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
収支説明会議	四半期ごと 年 4 回	四半期ごと 年 4 回	四半期ごと 年 4 回

2 法人組織運営

<取組項目 5 >

○ **中長期人材採用計画の策定【総務企画課】** **重点**

昨年に引き続き、県社協からの受託事業「特例貸付債権管理事業」に対応した採用を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
中長期人材採用計画	必要に応じ 見直し	—	必要に応じ 見直し
事務職採用	9 人	5 人	5 人

3 人事・労務

<取組項目 6 >

○ **地域福祉部門及び施設福祉部門の人事交流の実施と職務分類の整理【総務企画課】**

人事交流の目標人員の達成、職務における職級の整理に努めました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
管理職	2 人	2 人	6 人以上
非管理職	3 人	3 人	6 人以上

<取組項目 7 >

○ **職場環境整備（メンタルヘルスケアの充実）【総務企画課】**

こころの健康状態が悪化する前に気軽に相談できる窓口を引き続き開設し、メンタルヘルス不調を未然に防ぐとともに、復職前の段階的な職場復帰訓練の仕組み等による復職後の安定した就労の実現に努めました。

4 給与制度の検証

<取組項目 8 >

○ **専門性の高い職務に係る処遇改善の検討【総務企画課】**

特殊勤務手当の導入などについて検討を行いましたが、財源に課題があるため、引き続き整理しています。

5 人材育成及び能力開発の推進

<取組項目 9 >

○ 人材育成・職員研修の充実【総務企画課】 **重点**

合併後の新たな職員像を明確化し、階層ごとに求められるスキルの提示、人材育成方針に基づいた体系的な人材育成を推進する体制整備に努めました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
人材育成方針	職種別の 人材育成計画の 策定が概ね完成	職種別 の人材育成計画 を一部の職種で 策定	各職種別の 人材育成計画の 策定

<取組項目 10 >

○ 業務に係る資格の取得促進【総務企画課】

高齢・障害・子どもなどの横断的かつ生活困窮などの複合的な課題に対しては、多様なアプローチが求められることから、職員が持つ必要最低限の資格に加えて、業務能力の向上を目指した資格取得を促進しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
介護予防指導士	20人 (37.7%)	18人 (35.3%)	35人 (64.8%)
介護福祉士	49人 (87.8%)	39人 (84.8%)	43人 (100%)
社会福祉主事	109人 (90.8%)	103人 (88.8%)	108人 (100%)
社会福祉士・精神保健福祉士	54人 (31.2%)	49人 (29.3%)	52人 (32.1%)
認定看護師・専門看護師	0人(0%)	0人(0%)	1人(3.2%)

※ () は、一行目からそれぞれ指導員、介護員、事務職、事務職・指導員、看護師の総数を母数とした当該区分有資格者の割合。

<取組項目 11 >

○ 人事考課制度の検証【総務企画課】

現行の人事考課制度の検証として、各階層に求められる職員像の見直しを行うとともに、管理職による公正・公平な評価に向けた研修を実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
考課者への人事考課研修	実施	実施	実施
管理職への人事考課の 処遇反映	反映	反映	反映
非管理職への人事考課の 処遇反映	反映	反映	反映

<取組項目 1 2 >

○ 目標申告・育成指導の実施【総務企画課】

年度当初の面談による目標設定と定期的な面談による人材育成を図りました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
面接及び育成指導	年 3 回	年 3 回	年 3 回
目標申告制度 (チャレンジシート)	実施	実施	全職員

6 危機管理対策の拡充

<取組項目 1 3 >

○ 業務継続計画（BCP）の策定【総務企画課】

各拠点を含め策定した業務継続計画（BCP）を基に、災害や不測の事態でも重要業務を中断させず、または必要なレベルで継続し、早期に復旧できるよう体制整備に努めました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
業務継続計画（BCP）【法人】	策定済	策定済	必要に応じ 見直し
業務継続計画（BCP）【拠点】	策定済	策定済	必要に応じ 見直し
BCP 職員研修	未実施	未実施	年 1 回

<取組項目 1 4 >

○ 情報セキュリティ対策の実施【総務企画課】

引き続き、技術的対策による情報セキュリティに関するリスク低減に努めるとともに、研修により情報セキュリティに関する知識の習得を図りました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
新たなエンドポイント セキュリティ	—	導入済	—
情報セキュリティ研修	年 2 回	年 2 回	年 2 回

<取組項目 1 5 >

○ 感染症対策の実施【総務企画課】

感染症事故等の発生を防ぐ対策及び感染症事故発生後の法人内の対応体制の整備を引き続き行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
感染症事故発生時の協力体制	整備	整備	整備
感染症対策	実施・検証・見直し	実施・検証・見直し	実施・検証・見直し

7 広報戦略、効果的な事業実施の検討

<取組項目 1 6 >

○ 効果的な広報戦略の策定【総務企画課】

職員が本会の存在意義やその価値をしっかりと理解するとともに、市民により分かりやすく、タイムリーな情報が「伝わる」ための仕組みを構築し、社協の「見える化」を目指しました。また、策定した広報戦略方針の具体的な施策として、本会の認知度向上を図るため、多様な業務を実際に体験してもらう、体験型イベント「こどもおしごと体験」を11月30日（ハーモニープラザフェスタ内）で実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
広報戦略方針	策定済	策定済	策定済
こどもおしごと体験※	実施	実施	—
新たな広報媒体	実施	実施	実施
戦略的広報検討体制	一部整備	一部整備	整備
広報戦略の評価及び見直し	実施	—	実施

※実施体制：法人全体の各職種が協働し横断的なチームを編成
（事務職、看護師、介護員など）

参加人数：161名（未就学児：34名、小学生：53名、中・高校生：4名、大人：70名）

<取組項目 1 7 >

○ 市との協議や効果的な事業実施のための要望活動【総務企画課】

地域福祉推進を図るため、本市の福祉課題について市と協議を進めました。引き続き、行政に対して社協事業に係る要望活動を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
市との協議の場	年9回	年10回	年12回
市への要望事項提出	年1回	年1回	年1回

IV 実施事業 <地域福祉部門>

1 地域福祉活動計画に記載している取組項目

施策の方向性 1

学びの場をつくり、福祉人材を育成する

<活動計画取組項目 1 >

○ ボランティア活動等の推進

・ ボランティア【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募・V基) **3,369 千円** [3,606 千円] **3,909 千円**

ボランティアの相談・登録を行い、ボランティア情報紙等を発行して、情報提供を行いました。

また、新たにボランティア活動に参加する人や既に登録しているボランティアに対し、多種多様なボランティア講座を開催し、人材の確保・育成に努めました。

(ボランティアセンターのお知らせ・ぼら☆とぴ)

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
発行回数	年 8 回	年 8 回	年 8 回

(ボランティア講座)

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
講座回数	3 4 回	3 3 回	3 3 回

(ボランティア登録人数)

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
新規ボランティア登録人数	1 6 7 人	2 3 1 人	2 5 0 人

・市民後見人【千葉市成年後見支援センター】

(受託金) 262千円 [234千円] 373千円

判断能力が十分でない方が安心、安全でより豊かな生活を送れるよう、将来、市民後見人として活動することを希望する住民に、成年後見人等に必要な知識等を習得する機会を提供しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
新規養成人数 (前期)	—	23人	—
新規養成人数 (後期)	22人	—	23人
候補者登録人数	107人	87人	90人
フォローアップ研修	1回	1回	1回

<活動計画取組項目2>

○ 福祉教育の推進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募・V基) 3,493千円 [3,487千円] 3,403千円

学校や地域等に福祉体験用具の貸出、本会職員による出前講座等を行いました。

また、学校における福祉教育が円滑に行われるよう、学校教員や小・中学校の児童・生徒に対し情報紙や冊子を配布するとともに、教員向け福祉教育講座を開催しました。

なお、市立小・中学校6校を3年間、ボランティア活動推進協力校として指定し、企画・提案や助成金を通じて、学校が行う福祉教育を支援しました。

(福祉教育ニュース)

対象：小・中学校教員

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
発行回数	年2回	年2回	年2回

(わたしもぼくもボランティア)

対象：小学4年生から中学3年生

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
発行回数	年1回	年1回	年1回

(福祉冊子「やさしい気持ち」)

対象：小学4年生

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
発行回数	年1回	年1回	年1回

(福祉冊子「やさしい社会をつくる」)

対象：中学2年生

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
発行回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回

(福祉教育講座)

対象：小・中学校教員

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
講座回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回

(福祉用具貸出、講師派遣、訪問等)

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
実施件数	1 9 5 件	2 0 5 件	7 5 件

<活動計画取組項目 3 >

○ 成年後見制度の普及・啓発【千葉市成年後見支援センター】

(受託金) 69 千円 [216 千円] 413 千円

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力が十分でない方の権利や財産を守ることができる成年後見制度について広く周知を図るため、ホームページによる情報提供、パンフレットの作成、講習会の開催及び講師の派遣を実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
ホームページによる情報提供	常時	常時	常時
パンフレットの配架	常時	常時	常時
講習会等の開催	9 回	1 0 回	1 0 回
講師派遣（出前講座）の実施	1 7 回	1 9 回	1 5 回

<活動計画取組項目 4 >

○ 地区部会活動従事者に対する研修の実施【地域福祉推進課】

(会費・共募) 162 千円 [161 千円] 256 千円

地区部会活動従事者を対象に、地区部会活動に有益な知識や情報を習得してもらうため研修会を年 4 回開催しました。

<活動計画取組項目 5 >

○ 民生委員・児童委員に対する研修の実施

・ 民生委員・児童委員全体研修等【社会福祉課】

(受託金) 417 千円 [704 千円] 483 千円

民生委員・児童委員を対象に、民生委員・児童委員としての人格識見の向上と職務を行ううえで必要な知識及び技術の修得のため、民生委員・児童委員全体研修、地区民児協会長・副会長研修を開催しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	2 研修	2 研修	2 研修
受講者数	全体研修 861 人 会長・副会長研修 226 人	全体研修 791 人 会長・副会長研修 221 人	全体研修 1,528 人 会長・副会長研修 252 人

・ 主任児童委員研修【総務企画課】 (予算は P.30 指定管理の研修を含む)

主任児童委員を対象に、活動に必要な知識を習得するための研修を年 1 回実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	1 研修	1 研修	1 研修
受講者数	109 人	114 人	140 人

・ 新任民生委員・児童委員研修【総務企画課】

(受託金) 332 千円 [一千円] 332 千円

令和 7 年 1 2 月の一斉改選により、新たに委嘱される民生委員・児童委員及び民生委員協力員を対象に、委員としての心構えと基本的な職務内容を習得するための研修を実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	1 研修	—	1 研修
受講者数	294 人	—	450 人

施策の方向性 2

身近な地域で支援が届くしくみをつくる

<活動計画取組項目 6 >

○ 見守り活動の促進【地域福祉推進課】

重点

(共募) **1,245 千円** [1,240 千円] **1,575 千円**

ひとり暮らし高齢者等に対して、日常的な見守りや声かけによる安否確認等により、安心して地域で暮らせるよう見守り活動の仕組みづくりを支援するとともに、活動を実施する地区部会（町内自治会）に助成しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
地区部会エリア数	4 4 地区部会 エリア (293 町内自治会)	4 5 地区部会 エリア (296 町内自治会)	4 2 地区部会 エリア

<活動計画取組項目 7 >

○ 地域支えあい活動の促進【地域福祉推進課】

重点

掃除や買い物などの生活行動の一部が困難な方等のために、安心して地域で暮らせるような仕組みづくりを区事務所から地域の各種団体・機関へ働きかけるとともに、活動の継続に向けた支援を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
地区部会エリア数	2 6 地区部会 エリア	2 7 地区部会 エリア	3 2 地区部会 エリア

<活動計画取組項目 8 >

○ 子どもの居場所づくりへの支援【地域福祉推進課】

(共募) **8 千円** [8 千円] **8 千円**

千葉市子ども食堂ネットワーク（以下この項目において「ネットワーク」という。）の月例情報交換会に参加するとともに、本会ホームページ内「子ども食堂ほしいものリスト」の継続掲載や民間団体等助成金申請を希望する子ども食堂への申請補助、ネットワーク主催事業との共催など、実施団体との関係づくりに努めました。また、「子ども食堂を立ち上げたい」という相談者への支援を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
取組内容	ホームページ更新 情報交換会参加	ホームページ更新 情報交換会参加	ホームページ更新 情報交換会参加

施策の方向性 3

いきいきと暮らせる地域をつくる

<活動計画取組項目 9 >

○ ふれあい・いきいきサロンの促進【地域福祉推進課】 **重点**

(市補・会費・共募・その他) **6,197 千円** [6,008 千円] **5,850 千円**

地域の中に高齢者同士の語らいの場を設け、閉じこもり防止や寝たきり、認知症の予防を行うとともに、高齢者の仲間づくりを図ることを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。

また、施設福祉部門の専門職をサロン活動に派遣し、活動内容の充実を図りました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
地区部会数	6 5 地区部会	6 6 地区部会	6 5 地区部会
実施回数	4, 1 3 1 回	4, 0 0 5 回	3, 9 0 0 回
参加者・ボランティア 延べ人数	6 3, 0 5 6 人	5 8, 7 6 5 人	6 6, 3 0 0 人

<活動計画取組項目 10 >

○ ふれあい・子育てサロンの促進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募) **923 千円** [903 千円] **1,053 千円**

子育て中の親子が自由に集い、ボランティアとともに交流を通して、仲間づくりを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
地区部会数	5 1 地区部会	5 1 地区部会	5 4 地区部会
実施回数	6 1 5 回	6 0 2 回	7 0 2 回
参加者・ボランティア 延べ人数	1 1, 9 1 9 人	1 0, 7 3 5 人	2 1, 0 6 0 人

<活動計画取組項目 1 1 >

○ ふれあい・散歩クラブの促進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募) 438 千円 [465 千円] 540 千円

高齢者とボランティアによる散歩を通して、閉じこもりの防止や健康保持を目的とした活動を実施する地区部会を支援しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
地区部会数	24 地区部会	23 地区部会	30 地区部会
実施回数	438 回	465 回	540 回
参加者・ボランティア 延べ人数	4,252 人	4,591 人	7,020 人

<活動計画取組項目 1 2 >

○ ふれあい食事サービス事業への支援【地域福祉推進課】

(共募) 2,157 千円 [2,274 千円] 3,342 千円

ひとり暮らし高齢者等を対象に心身の健康保持と社会参加を目的とし、ボランティアや福祉施設等の協力を得て、会食や配食を実施する地区部会を支援しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値 (※)
地区部会数	28 地区部会	29 地区部会	33 地区部会
実施回数	208 回	211 回	299 回

※地域福祉活動計画上の目標値は、地区部会数37地区部会、実施回数343回ですが、同計画期間中に事業を廃止している地区部会、令和7年度は実施予定のない地区部会もあったことから地区部会事業実施調査の数値を記載しています。

<活動計画取組項目 1 3 >

○ 多世代交流等の推進【いきいきプラザ】

いきいきプラザで高齢者に限定せず、地域で暮らす多様な方々が交流できる場を設け、地域の仲間づくりを支援し、助けあい、支えあいの意識の醸成を図りました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
実施箇所数	6 箇所	5 箇所	6 箇所

施策の方向性 4

どんな相談にも寄り添う体制をつくる

<活動計画取組項目 1 4 >

○ コミュニティソーシャルワーク機能の強化【地域福祉推進課】

重点

様々な困難を抱えた方の相談に応じ、地域団体や相談機関等との連携を通じて課題解決に向けた支援をするとともに、コミュニティソーシャルワーカー（以下この項目において「CSW」という。）の課題共有、相互助言の場とする月例会議やCSW活動の評価検討を行いました。

また、CSWを主な対象として千葉県福祉まるごとサポートセンターでの同行実習を取り入れ、個別支援のスキルアップを図りました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
CSW会議 (個別支援ケース検討)	年 1 2 回 (※)	年 1 2 回	年 1 2 回

※うち3回は、大学教授を講師として招き、事例検討会を実施しました。参加対象をCSWに限定せず、本会職員や関係団体・機関等とし、コミュニティソーシャルワーク機能の強化に努めました。

<活動計画取組項目 1 5 >

○ 地域生活課題の解決に向けた支援

・コミュニティソーシャルワーカー【地域福祉推進課】

支援の手が届かない制度の狭間にいる人たちに寄り添いながら、様々な関係団体・機関とのネットワークを構築・活用し、困りごとの解決に向けた支援を行いました。

・生活福祉資金貸付事業【社会福祉課】

(受託金) **20,771 千円** [20,661 千円] **20,661 千円**

千葉県社会福祉協議会から、低所得世帯や障害者または高齢者の属する世帯に対して、無利子または低利で融資する貸付事業の一部を受託し、貸付けを行うとともに、借受世帯の自立と安定に向けた支援を行いました。

ア 貸付金の種別

資金の名称		申請件数 (件)	貸付件数 (件)	貸付金額
総合支援資金		0	0	0円
福祉資金	福祉費	49	45	4,113,700円
	緊急小口資金	101	77	7,243,100円
教育支援資金		82	77	77,361,800円
不動産担保型生活資金		0	0	0円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0	0	0円
臨時特例つなぎ資金		0	0	0円
合計	R7	232	199	88,718,600円
	R6	291	229	116,216,000円

イ 各区事務所等貸付取扱状況

(件)

区分	総合 支援 資金	福祉資金		教育 支援 資金	不動産 担保型 生活資金	要保護 世帯向け 不動産担保 型生活資金	臨時特例 つなぎ 資金	合計
		福祉費	緊急小口 資金					
中央区	0	13	28	13	0	0	0	54
花見川区	0	7	13	9	0	0	0	29
稲毛区	0	5	13	16	0	0	0	34
若葉区	0	11	14	25	0	0	0	50
緑区	0	1	2	6	0	0	0	9
美浜区	0	8	7	8	0	0	0	23
合計	R7	0	45	77	0	0	0	199
	R6	0	46	94	88	1	0	229

・緊急小口資金等特例貸付債権管理事業【社会福祉課】

(受託金) 108,841千円 [73,859千円] 133,627千円

新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯に貸し付ける緊急小口資金等特例貸付の借受人に対し、生活が安定しないなどの理由がある場合は適切に償還猶予及び免除の案内をしました。

長期滞納者については、フォローアップ支援の一環として生活状況把握のための電話連絡、訪問支援および関係機関と共催した生活相談会を実施し、自立相談支援機関等の関係機関と連携しながら、生活のお困りごとへの支援を行いました。

(件)

区分	取扱件数	償還免除件数	フォローアップ支援事業				
			支援対象者数	架電件数	訪問件数	生活相談会参加者数	
中央区	2,739	325	1,272	2,751	560	6	
花見川区	2,013	158	820	1,494	205	11	
稲毛区	1,373	104	592	3,139	299	9	
若葉区	1,780	148	769	2,072	312	6	
緑区	800	45	311	881	134	9	
美浜区	1,076	76	357	767	236	9	
合計	R7	9,781	856	4,121	11,104	1,746	50
	R6	11,007	1,366	3,441	5,358	1,068	51

・生活困窮者の自立促進【生活自立・仕事相談センター中央】

【生活自立・仕事相談センター美浜】

(受託金) 中央区 **39,270 千円** [39,270 千円] **39,270 千円**

美浜区 **23,918 千円** [23,918 千円] **23,918 千円**

生活保護に至る前の生活困窮者が、生活困窮から早期脱却するために、相談支援により抱えているニーズを把握し、本人の状態に応じた支援計画を策定するとともに、自立相談支援を包括的かつ継続的に、自立に向けた支援を行いました。

区分	場所	R 7	R 6	R 7 目標値
新規相談件数	中央	6 4 5 件	5 4 1 件	6 3 0 件
	美浜	3 3 3 件	3 5 9 件	3 1 5 件
プラン作成件数	中央	2 1 8 件	2 6 4 件	新規相談件数の50%以上
	美浜	1 3 5 件	1 2 7 件	新規相談件数の50%以上

・権利擁護支援【千葉市成年後見支援センター】

＜日常生活自立支援事業＞（利用料、市補） **52,743 千円** [50,007 千円] **55,246 千円**

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力に不安を抱える方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用手続や日常的な金銭管理に関する助言や手続代行等の援助をしました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
利用者数 (年度内延人数)	3 3 2 人	3 3 7 人	3 6 0 人
(うち新規契約数)	(6 9 人)	(9 0 人)	
(うち解約・終了者数)	(8 0 人)	(7 4 人)	
市民活動者数	4 7 人	5 4 人	7 0 人

＜法人後見事業＞（後見報酬、市補） **12,400 千円** [12,310 千円] **12,746 千円**

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力が十分でない方の権利や財産を守るため、成年後見人等を家庭裁判所から受任し、支援を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値	備考
受任件数 (年度内延件数)	3 9 件	3 7 件	4 0 件	—
(うち新規受任件数)	(7 件)	(8 件)		
(うち終了件数)	(5 件)	(5 件)		
市民活動者数	2 4 人	2 7 人	3 0 人	家庭裁判所からの選任の有無を問わない

＜権利擁護に関する相談＞（受託金） **850 千円** [878 千円] **958 千円**

権利擁護に関する市民からの相談に応じました。

また、必要に応じて弁護士会や法テラスなどの関係機関と連携し不安や疑問の解消を図りました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
相談件数	4, 0 7 1 件	3, 8 3 4 件	2, 5 0 0 件
(うち弁護士が対応したもの)	(4 9 件)	(3 1 件)	

・生活支援コーディネーター【5区事務所】

(受託金) 25,935 千円 [25,680 千円] 25,935 千円

市が実施する生活支援体制整備事業を目的とした生活支援コーディネーター配置業務について、行政区域（第1層 中央区除く）を対象とする同業務を受託し、多様なサービスを提供する事業主体との連携のもと、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続できるよう支援を行いました。

また、日常生活圏域を対象とする生活支援コーディネーター（第2層）が円滑、効果的に業務が行えるよう活動を支援しました。

施策の方向性 5

地域の様々な団体と連携・協働する

<活動計画取組項目 16>

○ 権利擁護のネットワークづくり【千葉市成年後見支援センター】

(受託金) 78 千円 [39 千円] **156 千円**

千葉市とともに、千葉県弁護士会等の各種専門職団体、当事者団体、千葉市あんしんケアセンター、千葉市障害者基幹相談支援センター、千葉家庭裁判所などが参画する協議会を運営し、判断能力が十分でない方に対して適切な権利擁護支援が図られるよう、現状把握や意見交換等によって更なる連携強化を図りました。

<活動計画取組項目 17>

○ 大学と地域の連携の推進【地域福祉推進課】

千葉大学、淑徳大学、千葉経済大学と連携し、緑区の障害者施設が主催の夏祭りのボランティア募集を支援しました。その他、東都大学と連携し、美浜区の老人クラブが実施する健康テレビゲームの活動に、学生が講師や対戦相手として参加するよう支援しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
実施校数	増減なし (計 9 校)	増減なし (計 9 校)	1 校増 (計 11 校)

<活動計画取組項目 18>

○ 社会福祉法人の地域における公益的な取組みの促進【地域福祉推進課】

重点

(会費) 180 千円 [168 千円] **196 千円**

緑区において、軽費老人ホームケアハウス誉田園（社会福祉法人うぐいす会）の協力により、コロナ禍で休止していた買い物支援事業を7月より再開しました。また、若葉区において、特別養護老人ホーム中野園（社会福祉法人高砂会）の協力により、同事業を10月より開始しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
実施法人数	33 法人	33 法人	6 法人増 (計 46 法人)

<活動計画取組項目 19>

○ NPO・団体との連携・協働【地域福祉推進課】

(会費) 0千円 [165千円] **23千円**

生活困窮者等を支援している4つの団体と、(株)セブンイレブン・ジャパンより寄贈された商品を活用し、生活困窮者等を支援しています。また、NPO法人 AquaDreamProject と幕張の浜の清掃活動を通じ、SDGsの取組みを行いました。

<活動計画取組項目 20>

○ 企業等との連携・協働【地域福祉推進課】

企業等からの相談に基づき、社会貢献活動の提案を行うとともに、企業等の取組の参考になるような事例を収集し、本会ホームページに掲載しました。
また、地域活動の活性化を図るため、企業等のSDGsの取組みと連携しました。

<活動計画取組項目 21>

○ 災害時の体制整備の強化【地域福祉推進課】

重点

(補助・共募) 970千円 [1,108千円] **1,165千円**

災害時に本会職員と協働で運営できるスタッフを養成し、本会職員と運営ボランティアによる災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。
なお、例年、九都県市合同防災訓練の中で行っている訓練については、イオンモール幕張新都心エキマエモールにおいて、本会職員による災害支援システム (JoyLinks) を活用した災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施しました。
また、災害資機材の整備を図りました。

区分	R7	R6	R7目標値
講座回数	年2回	年2回	年2回
訓練回数	年1回	年1回	年2回



2 地域福祉活動計画外の主だった事業等

○ 社協だよりの発行【総務企画課】

(共募) **3,082 千円** [2,908 千円] **3,831 千円**

社協の存在や地域福祉の現状を広く市民にPRするため、社協だよりを年4回発行し、各町内自治会での回覧や公共施設などへの配架を通じて、多くの市民へ情報を提供しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
発行部数	1回あたり 32,000部	1回あたり 32,000部	1回あたり 32,000部
発行回数	年4回	年4回	年4回

○ 会長表彰【総務企画課】

(共募) **508 千円** [500 千円] **713 千円**

千葉市において永年にわたり地域福祉の増進に貢献された方々を表彰し、感謝の意を表するとともに、本会の目指す“共に手を携える地域社会”の一層の進展を図ることを目的とし、本会会長表彰式を実施しました。

- ・期日：令和7年11月28日（金）
- ・会場：千葉市ハーモニープラザ1階 多目的ホール
- ・件数：特別表彰 3件
 会長表彰 320件
 会長感謝 26件
 合計 349件



○ 指定管理の研修【総務企画課】

(受託金) 52,265 千円 [53,216 千円] **52,265 千円**

感染症対策等を講じることによる対面研修受講率の向上と満足度を確保しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
実技を伴う 研修受講率	91.2%	86.5%	平均75%以上
実技を伴わない 研修受講率	97.8%	91.4%	平均85%以上
アンケート 総合評価	4.72点	4.71点	平均4.5点以上

・ 市民向けセミナーの実施

市民がいきいきと安心して地域で暮らせるよう健康や介護などをテーマとした市民向けセミナーを開催しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	29 研修	32 研修	28 研修
受講者数	553 人	646 人	提案による

・ 管理運営部門研修

健全な法人経営や適正な施設運営を図るため、社会福祉法人の経営者・施設長を対象に、法人経営・施設運営に関する専門知識についての研修を実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	3 研修	3 研修	3 研修
受講者数	70 人	49 人	90 人

・ 専門職研修

福祉・介護現場に従事する、介護職・ケアマネジャー・看護職・栄養士等の介護現場で働く専門職の方々を対象に、各々に求められる専門的知識や介護技術を習得するための研修等を実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	6 研修	7 研修	6 研修
受講者数	181 人	193 人	220 人

・行政職員研修

福祉担当者の資質の向上を図るため、6研修を実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	6 研修	7 研修	6 研修
受講者数	2 8 4 人	2 2 5 人	2 4 0 人

・専門課題研修

福祉、介護施設・事業所等に従事する方々に求められる介護技術、医療・障害知識等について、テーマを設定し、知識・技能の向上を図りました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	1 2 研修	2 6 研修	1 2 研修
受講者数	5 2 1 人	5 4 5 人	7 3 0 人

・キャリア創生研修

キャリア創生研修では、業務を通じて求められる知識・技術について習得の機会を提供するとともに、受講者の方々が研修での体験を通して自らの将来像を描き、職業人生の意味を深め、その価値を高めることを狙いとして実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	6 研修	6 研修	6 研修
受講者数	4 5 6 人	2 9 7 人	2 2 0 人

・企画提案研修

幅広い分野から、利用者・従事者のニーズに対応する知識・技術をテーマとした研修を企画し実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	4 研修	7 研修	1 研修
受講者数	3 6 5 人	2 8 7 人	企画提案による

・生活援助型訪問サービス従事者研修（受託金） **866 千円** [866 千円] **866 千円**

介護保険利用者（要支援1・2）の居宅を訪問し、身体介護を伴わない生活援助型訪問サービス（掃除・洗濯・買い物・調理など）を実施する際のサービスの質や安全性を習得するための研修を実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修数	1 研修	1 研修	1 研修
受講者数	6 5 人	7 0 人	1 2 0 人

○ **社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習の実習生受入【総務企画課】**

社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習の実習生を受け入れ、各部署において社会福祉士として必要な知識及び援助技術を習得するための実習指導を行うとともに、実習プログラムの充実を図りました。

(社会福祉士養成課程ソーシャルワーク実習の実習生の受け入れ)

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
受入数	4 人	4 人	3～9 人

○ **社協賛助会員の拡大【地域福祉推進課】**

自主財源を確保し、地域福祉活動の継続的な推進を図るため、賛助会員の拡大を目指して積極的な働きかけを行いました。

昨年度に引き続き、千葉市老人福祉施設協議会、千葉市民間保育園協議会等関係機関や、千葉市医師会・歯科医師会・薬剤師会等に対し、訪問による説明・入会案内を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
賛助会員口数	10,000 円 7 口減 3,000 円 2 5 口減	10,000 円 9 口減 3,000 円 1 1 口減	前年度実績より 1 0 口増
会費納入方法	検討	検討	検討

※口数は、本会取り扱い分のみの実績

<会員の状況>

区分		住民会員 (1 口 200 円)	賛助会員 (1 口 3,000 円)	賛助会員 (1 口 10,000 円)	会費収納額
地区部会	中央区	40,428 口	293 口	78 口	9,746,200 円
	花見川区	31,964 口	64 口	32 口	6,904,900 円
	稲毛区	28,573 口	85 口	29 口	6,260,671 円
	若葉区	20,778 口	24 口	22 口	4,447,650 円
	緑区	21,475 口	18 口	3 口	4,389,100 円
	美浜区	23,018 口	53 口	19 口	4,952,661 円
地区民児協	花見川区	195 口	1 口	1 口	52,000 円
	若葉区	50 口	—	—	10,000 円
本会取扱分		0 口	36 口	60 口	710,000 円
合計	R7	166,481 口	574 口	244 口	37,473,182 円
	R6	169,858 口	580 口	246 口	38,180,286 円

○ 地域ふくし力アップ助成金の活用等による地域の仕組みづくりの推進【地域福祉推進課】

(その他) 300千円 [400千円] **1,800千円**

地域の特性や市民の意向を踏まえ、コミュニティソーシャルワーカー及び区事務所が相談・助言等を行い、地域福祉の向上及び地域における福祉課題の解決を図るため、住民が主体的に行う事業に要する経費について、1団体に助成しました。

引き続き、コミュニティソーシャルワーカーをはじめ、区事務所が各種団体・関係機関と連携し、地域における福祉課題の解決に向けた取組や仕組みづくりに努めます。

○ ボランティアグループ育成事業【地域福祉推進課】

(V基) 1,305千円[1,491千円] **2,200千円**

ボランティア基金より、ボランティアグループへの助成を行いました。

また、ボランティア活動を促進するための資金確保として、使用済み切手等を収集し、ボランティアの協力のもと仕分け作業を行い、売却収入をボランティア基金に積み立てました。

(ボランティアグループへの助成)

区 分	R 7	R 6
グループ数	60グループ	66グループ
助成金額	1,305,186円	1,421,760円

(使用済み切手等の収集量及び売却金額)

区 分	R 7		R 6	
	収集量	売却金額	収集量	売却金額
使用済み切手	160.9 kg	66,950円	184.4 kg	74,740円
使用済みプリペイドカード	18,150枚	400円	18,150枚	909円
合 計		67,350円		75,649円

○ 団体事務局（民生委員児童委員協議会事務局）の運営【社会福祉課】

民生委員・児童委員が、複雑・多様化する地域生活課題に、適切に対応できるよう研修体系を構築し、研修環境の整備に努めました。

○ 団体事務局（日本赤十字社千葉県支部千葉市地区本部事務局）の運営【社会福祉課】

千葉市赤十字奉仕団員の募集記事を、「ちばし社協だより」に掲載しました。活動資金の募集については、地域の実情に合わせて実施しました。

○ 共同募金事業への協力【社会福祉課】

募金額の減少幅を縮小させるため、街頭募金及びイベント募金を実施するとともに、広報用チラシを一般向けと企業・法人向けとして対象別に作成するなど、寄付者に対してよりわかりやすい広報に努めました。

また、例年協力いただいている企業等に継続して協力を依頼しました。



企業への働きかけの成果として、古谷乳業株式会社が牛乳パックの広告欄に共同募金の広告を掲載くださいました。

○ テーマ別地域生活課題解決応援助成【社会福祉課】

(共募) 542千円 [150千円] 500千円

様々な地域生活の課題解決に取り組む活動を応援するため、地域生活課題に応じた助成テーマを設定し、非営利活動団体等が行う地域福祉活動を支援しました。

令和7年度のテーマは「子ども・若者の支援に関する活動」とし、6団体に助成しました。

○ 保育士修学資金等貸付事業【社会福祉課】

(市補) 105,864 千円 [135,857 千円] 184,143 千円

・保育士修学資金貸付事業

質の高い保育士の養成確保に資することを目的として、指定保育士養成施設に在学し保育士資格を目指す学生に対し、修学に必要な資金の貸付を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
貸付決定件数	42 件	77 件	100 件

・保育補助者雇上費貸付事業

保育所等における保育士の負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の貸付を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
貸付決定件数	1 件	1 件	5 件

・保育料の一部貸付事業

未就学児を持つ保育士で、保育の仕事に就労することが決定している方に、保育料の一部について貸付を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
貸付決定件数	49 件	27 件	35 件

・就職準備金貸付事業

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することが決定した場合、就職準備金の貸付を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
貸付決定件数	12 件	21 件	30 件

○ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【社会福祉課】

(市補) 39,582 千円 [32,965 千円] 39,545 千円

・ 高等職業訓練促進資金貸付事業

ひとり親の資格取得支援を目的として、高等職業訓練に係る費用（入学準備金・就職準備金）の貸付を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
入学準備金 貸付決定件数	4 件	7 件	1 0 件
就職準備金 貸付決定件数	4 件	3 件	1 0 件

・ 住宅支援資金貸付事業

ひとり親の自立促進を目的として、居住する賃貸住宅の家賃の貸付を行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
貸付決定件数	7 0 件	6 4 件	6 5 件

○ 施設団体等助成事業【社会福祉課】(共募) 2,721 千円 [2,407 千円] 3,897 千円

社会福祉団体や民間社会福祉施設が実施する地域福祉活動に要する経費を助成しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
団体補助金	1 1 団体	1 1 団体	1 3 団体
施設補助金	1 4 団体	1 4 団体	2 0 団体
歳末助成金	4 6 団体	5 6 団体	6 0 団体

○ 社会福祉事業振興資金貸付事業【社会福祉課】

(貸付資金) 11 千円 [15 千円] 16,240 千円

社会福祉法人等が設置運営する社会福祉施設の整備等に必要な資金を融資する目的で実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
償還元金	8 0 0 千円	1, 2 0 0 千円	8 0 0 千円
受取利息	6 9 千円	9 9 千円	6 9 千円
新規貸付額	0 千円	0 千円	1 6, 0 0 0 千円
新規貸付件数	0 件	0 件	2 件

○ **車椅子貸与事業【社会福祉課】** (共募) **231千円** [243千円] **531千円**

車椅子が必要な方へ2か月(最長6か月)を限度として、無償で貸し出し、利用者や介助者の利便性の向上及び経済的負担を軽減しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
貸出数	540件	571件	580件

○ **緊急一時的な食糧支援事業【社会福祉課】**

フードバンクちばと連携し、生活困窮者へ緊急一時的な支援を行いました。

<食品配送申請受付件数>

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
R7	148件	107件	15件	25件	25件	37件	357件
R6	149件	89件	14件	5件	24件	27件	308件

○ **放課後児童健全育成事業【児童育成課】**

(受託金) **1,780,895千円** [1,856,305千円] **1,987,552千円**

就労等により昼間家庭に保護者のいない児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るとともに、保護者の子育てを支援しました。

区 分	R 7	R 6
子どもルーム数	88か所	96か所

○ 千葉市子どもナビゲーター事業【中央区事務所】

【美浜区事務所】

(受託金) 中央区 7,207 千円 [7,207 千円]

7,207 千円

美浜区 7,207 千円 [7,207 千円]

7,207 千円

子どもの貧困対策として、経済的な困窮だけでなく、家庭環境などから基本的な生活習慣が乱れている子どもを支援するため、直接、子どもや家庭に対して生活習慣の改善を働きかけるとともに、様々な支援機関や関連事業につなげるなどの支援を行いました。

○ 重層的支援体制整備事業【千葉市福祉まるごとサポートセンター】

重点

(受託金) 53,317 千円 [38,731 千円]

53,317 千円

分野・年齢・相談内容を問わず、福祉に関する困りごとを包括的に受け止める「福祉まるごとサポートセンター」では、支援対象者に必要な助言や情報提供を行うとともに、状況に応じて適切な支援機関へつなぎました。

また、複数の関係機関が連携して支援する場合には、全体のコーディネイト役として関係機関の役割分担を整理し、支援プランの作成や進行管理を行いました。さらに、アウトリーチを実施し、継続的な寄り添い支援を通じて個々のニーズを丁寧に把握し、社会とのつながりを築くための参加支援事業を実施しました。



V 実施事業 <施設福祉部門>

千葉市桜木園

<実施事業> (受託金) **734, 562 千円** [710, 476 千円] 776, 675 千円

事業名	定員
医療型障害児入所	50人
療養介護	
短期入所	5人
日中一時支援	
児童発達支援	20人
放課後等デイサービス	
生活介護	

○ 入所利用者の日中活動の充実と高齢化する利用者・保護者への対応

有償ボランティアによる花壇整備を実施し園内美化に努めたほか、高等学校による演舞等、利用者ニーズに即した日中活動の充実を図りました。また、令和8年度からの一部事業の自主事業化に向け、有償サービスの拡充検討に取り組みました。

成年後見制度の利用について、成年後見人等が選任された方はいませんでした。引き続き、ご家族に制度説明を行うなど、利用促進に努めました。

ターミナルケアについて、対応事例はありませんでしたが、即応できるよう、マニュアルの内容確認を行いました。

人工呼吸器使用者について、令和6年度より2人増え、3人の入所者が気管切開を伴う人工呼吸器を使用しています。なお、呼吸療法認定士の資格取得には、至りませんでした。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
有償サービスの実施	実施・検討	実施	実施・情報収集 ・選定
成年後見制度の利用	実施	実施	実施
ターミナルケアの 対応	実施	実施	実施
人工呼吸器使用者の 受入	3人受入 未受講	1人受入 呼吸療法認定士2名	2人受入 呼吸療法認定士1名

○ 通所事業及び短期入所事業の利用促進と人工呼吸器使用者の受入対応

通所事業は、利用時間の延伸や欠員発生時の声掛け等により、前年の利用者数を上回ることができましたが、目標値の達成には至りませんでした。

また、短期入所事業は、長期入所の空床を短期入所に転用するなど、弾力的な運用により、延べ利用者数が増加し、稼働率の目標値を達成することができました。

通所事業及び短期入所事業における人工呼吸器使用者について、令和6年度より4人増え、6人の方を受け入れました。

なお、呼吸療法認定士の資格習得には至りませんでした。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
通所利用者数	1日平均11.7人	1日平均11.1人	1日平均16人
短期入所稼働率	96.6%	83.2%	96.0%
人工呼吸器使用者の受入	6人受入 取得未達	2人受入 未受講	1人受入 呼吸療法認定士1名

○ 入所利用状況

区 分	R 7	R 6
医療型障害児入所施設	948人	516人
療養介護	16,714人	16,801人

○ 在宅支援利用状況

区 分		R 7	R 6
短期入所	宿泊	1,302人	975人
	日帰り	108人	74人
日中一時支援事業		0人	0人
通所	児童発達支援	32人	44人
	放課後等デイサービス	99人	44人
	生活介護	2,736人	2,603人
障害児等療育支援事業	訪問療育相談	2人	4人
	外来療育相談	0人	1人
	地域生活支援 施設支援一般指導	2人	5人
外来診察		1,412人	1,213人

<実施事業> (自主運営) 745,628千円 [732,709千円] 815,284千円

事業名		定員
養護老人ホーム	長期入所	80人
	千葉県高齢者虐待等居室確保事業	3人
	契約入所	※
特別養護老人ホーム	長期入所	50人
	短期入所生活介護事業	4人
	千葉県緊急ショートステイ事業	2人
特別養護老人ホーム (ユニット型)	長期入所	30人
	短期入所生活介護事業	10人
訪問介護事業所・日常生活支援総合事業		—
居宅介護支援事業所		—

※ 契約入所は、長期入所の空床を活用した事業のため長期入所の利用者数により変動します。(概ね10人程度)

○ 和陽園再整備に向けた取組み

重点

和陽園再整備基本計画に基づき、再整備プロジェクト会議において委託事業者と共に検討を重ね基本設計を策定しました。

また、基本設計策定の後、実施設計に移行し、策定に向け鋭意検討中です。

区分	R7	R6	R7目標値
和陽園再整備基本計画	—	策定	—
和陽園再整備基本計画に基づく基本設計	策定	—	策定
和陽園再整備基本計画に基づく実施設計	実施	—	実施

○ 職員の資質向上に向けた取組み

介護技術指導職員の配置及び職員個々のレベルに合わせた個別育成プログラムにより、職員全体の技量の底上げを図り、利用者サービスの質の向上に努めました。

区分	R7	R6	R7目標値
指導者育成研修の受講	3人	3人	3人
育成プログラムの作成	実施	実施	実施
成果の確認と面談の実施	実施	実施	実施

○ 事業安定化に向けた取組み

事業の安定運営には介護・看護人材の安定確保は不可欠であり、職員の定着化に向け、身体的・精神的負担の軽減やICT化等により業務の効率化を図りました。

区 分	R 7	R 6	R 7目標値
職場体験会の実施	1回	1回	4回
メンター制度の導入	実施	実施	実施
特定技能1号外国人の受入	実施	4人受入	実施

○ 買物支援サービス事業への取組み

日常的な買物に不便を感じている高齢者等を支援する買物支援サービス事業において、送迎車両と運転員の無償提供等により、若葉区事務所と連携し、事業を実施しました。

区 分	R 7	R 6	R 7目標値
買物支援サービス事業	週1回実施	週1回実施	週1回程度

○ 養護老人ホーム利用状況

区 分	R 7	R 6
長期入所	23,866人	24,028人
高齢者虐待等居室確保事業	1,374人	1,379人
契約入所	320人	—

○ 特別養護老人ホーム利用状況

区 分	R 7	R 6
長期入所	17,537人	18,125人
短期入所生活介護事業	1,188人	1,081人
千葉県緊急ショートステイ事業	428人	103人
千葉県特例短期入所	120人	498人

○ 特別養護老人ホーム（ユニット型）利用状況

区 分	R 7	R 6
長期入所	10,950人	10,950人
短期入所生活介護事業	3,412人	3,144人

○ 訪問介護、日常生活支援総合事業利用状況

区 分	R 7	R 6
サービス提供回数	31,440回	30,553回

○ 居宅介護支援事業所利用状況

区 分	R 7	R 6
ケアプラン作成	1,312人	1,101人



(1) 療育相談所

＜実施事業＞ (受託金) **271,410 千円** [287,789 千円] **289,514 千円**

心身の発達についての相談・診察に基づき、必要な支援を行う医療機関です。

○ 待機期間の短縮並びに相談支援体制の充実

重点

初回問合せから初診までの待機期間の維持、短縮に向け電話連絡体制の強化や診察枠のこまめな調整を行い、医師と相談員が初回診察、受理面接に努めた結果、3月末時点では計算上3か月ですが、ケースによっては最短で1か月で対応できる状況になりました。初回待機者にも2週間以内に電話をして待機の不安感解消に努めました。必要に応じ関係機関と連携し相談支援体制の強化に努めました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
初回問合せから初診までの待機期間の短縮	3 か月待ち	約 2 か月待ち	2 か月待ち
初診件数及び受理面接	年間 7 5 3 件	年間 8 2 5 件	年間 8 0 0 件

○ 利用状況

区 分		R 7	R 6
相談状況	新規相談	864人	888人
	来所相談	0人	6人
	受理面接	753人	825人
	再相談	2,779人	3,043人
	他機関連携・調整	572人	720人
	他機関への訪問	20人	21人
	計	4,988人	5,503人
診療状況	小児科	4,826人	5,310人
	整形外科	68人	56人
	精神神経科	423人	305人
	耳鼻咽喉科	172人	463人
	計	5,489人	6,134人
訓練評価	理学療法	393人	335人
	作業療法	730人	577人
	聴能・言語	935人	860人
	心理	1,309人	1,251人
	計	3,367人	3,023人
検査	X線	0人	15人
	脳波	0人	0人
	一般	99人	274人
	意見書発行	0人	6人
	計	99人	295人
再相談	理学療法	4人	3人
	作業療法	0人	3人
	聴能・言語	10人	12人
	心理※	30人	62人
	計	44人	80人
他機関連携調整	理学療法	7人	0人
	作業療法	7人	52人
	聴能・言語	132人	80人
	心理	54人	50人
	計	200人	182人
他機関への訪問	理学療法	0人	0人
	作業療法	0人	0人
	聴能・言語	8人	26人
	心理	0人	0人
	計	8人	26人

※再相談の心理に「集団生活における発達相談」（19人）を加えています。

(2) やまびこルーム

<実施事業>

(受託金) 87,298 千円 [74,443 千円]

89,805 千円

事業名	定員
児童発達支援センター (旧福祉型)	20人

○ 利用者満足度の向上及び出席率の向上

療育の質の向上と利用児の併行通園先への訪問や電話連絡による関係機関との連携の強化を図りました。

利用実績と出席率の向上のため、具体的には、全体行事に利用者が参加しやすいよう複数の開催日を設定する、保護者勉強会を異年齢交流グループと同日に現地開催する、利用児が欠席した際は、別日に出席できるよう欠席振替を行う、兄弟2人が難聴でありやまびこを利用している場合に、1日で2人が連続して個別療育を受けられるよう時間枠を設定するなどの取組みを行いました。

また、保護者ニーズに応じて、保護者勉強会や保護者懇談の時間を長めに設定し、保護者交流の機会を増やしました。このような取組みの結果、令和7年度は利用者満足度、出席率、利用実績ともに前年度を上回る結果となりました。

区 分	R 7	R 6	R 7目標値
利用者満足度	96.2%	94.3%	90%以上
出席率向上	89.1%	84.4%	前年度比増

○ 利用状況

区 分	R 7	R 6
児童発達支援センター (旧福祉型)	1,538人	1,237人
兄弟姉妹預かり事業	30人	28人

(3) すぎのこルーム

<実施事業> (受託金) 105,184 千円 [106,444 千円] 113,924 千円

事業名	定員
児童発達支援センター (旧医療型)	10人
児童発達支援事業	20人
日中一時支援事業	1人

○ 児童発達支援センター（旧医療型）・児童発達支援事業における利用者満足度の向上及び利用延べ人数の増加

児童発達支援センター（旧医療型）、児童発達支援事業では、多職種が連携しながら、機能面から日々の療育活動、生活面まで幅の広い支援に努めました。保護者に対しては、お子さんへの理解を深める勉強会や、保護者自身をケアする勉強会、個別面談などを随時実施しました。

全体の傾向として、共働きの家庭が増え、民間の預かり型児童発達支援事業所を希望するお子さんが増えていること、また、就学準備として、放課後等デイサービスを併設する事業所に併行通園するお子さんが増えていることで、年齢の高いお子さんは、親子通園である当事業の利用が減少傾向にあります。しかし、今年度は、低年齢児の契約が増えたことで、利用延べ人数の増加がみられました。

利用者満足度に関しては、保護者とのコミュニケーションを大切にし、ニーズに沿った支援や保護者勉強会の開催に努めたことで、児童発達支援センター（旧医療型）及び児童発達支援事業共に目標値を達成することが出来ました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
利用者満足度	94.9%	93.7%	90%以上
利用延べ人数の増加	11.8%増	21.4%減	前年度比増

○ 利用状況

区 分	R 7	R 6
児童発達支援センター (旧医療型)	1,066人	1,040人
児童発達支援事業	1,280人	1,053人
日中一時支援事業	3人	5人
兄弟姉妹預かり事業	13人	15人

(4) 大宮学園ひまわりルーム

<実施事業> (受託金) 186,244 千円 [183,468 千円] 198,704 千円

事業名	定員
児童発達支援センター (旧福祉型)	40人
日中一時支援事業	1人

○ 利用者満足度の向上及び出席率の向上

利用者一人ひとりの状況やニーズに応じた療育内容を提供するとともに、保護者支援の充実にも取り組みました。その結果、利用者満足度は昨年度と同様に90%以上を維持することができました。

出席率については、他の児童発達支援事業所を併用する利用者の増加が見られたものの、令和6年度より契約児童数が増加したこともあり、昨年度より上昇しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
利用者満足度	97.0%	91.2%	90%
出席率向上	76.4%	73.0%	前年度比増

○ 利用状況

区 分	R 7	R 6
児童発達支援センター(旧福祉型)	7,157人	6,390人
日中一時支援事業	0人	0人
兄弟姉妹預かり事業	16人	20人

(5) 大宮学園たけのこルーム

<実施事業> (受託金) 103,276 千円 [98,651 千円] 105,084 千円

事業名	定員
児童発達支援センター (旧医療型)	10人
児童発達支援事業	20人
日中一時支援事業	1人

○ 児童発達支援センター(旧医療型)・児童発達支援事業における利用者満足度の向上及び利用延べ人数の増加

児童発達支援センター(旧医療型)では、本年度も土曜日に運動会を開催し、他の家族との交流を深める機会となりました。また、通園バスを活用した外出体験を2回実施し、バス乗車の経験や外出先での食事体験を積み重ねることができました。

児童発達支援事業においても外出体験を実施し、外出先での買い物体験を通して社会的経験の幅を広げました。

保護者支援については、日頃の悩み相談を随時受け付けるとともに、保護者勉強会を開催し、お子さんへの理解が深まるよう計画的に取り組みました。その結果、利用者満足度は昨年度より増加しました。

一方で、共働き家庭の増加に伴い、預かり型事業所や保育所等との併行利用が進み、利用延べ人数は昨年度を下回りました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
利用者満足度	96.6%	90.3%	90%以上
利用延べ人数の増加	23.3% 減少	6.5% 増加	前年度比増

○ 利用状況

区 分		R 7	R 6
児童発達支援センター (旧医療型)		408人	515人
児童発達支援事業		832人	1,102人
日中一時支援事業		6人	1人
兄弟姉妹預かり事業		0人	4人
診 察	医療発達相談	140人	—
	精神科	—	0人
	整形外科	—	10人
	小児科	—	113人
訓 練	心理	103人	44人
	理学療法	182人	42人
	作業療法	461人	92人
	言語療法	—	6人

令和7年4月1日の診療所機能の休止に伴い、福祉サービスとしての「医療発達相談」へと移行しました。

また、これまで診療所機能のもとで実施していた各種訓練については、個別支援および小集団支援として再編し、「専門的支援実施計画」および「家族支援」の方針に基づき、福祉サービスとして運用する体制へ移行しました。

(6) いずみの家

<実施事業>

(受託金) 89,679 千円 [85,011 千円]

93,304 千円

事業名	定員
就労移行支援事業	6 人
就労継続支援 B 型事業	3 4 人
日中一時支援事業	3 人

○ 高齢化する利用者の施設利用継続に向けた支援

定期面談を利用し、ご本人だけでなくご家族を踏まえた課題や不安、ニーズを伺い、情報収集を行いました。また、必要な方にはグループホームや短期入所の利用を促し、将来を見据えた支援を行いました。併せて、ご家族からの相談がスムーズにいくように担当の計画相談支援事業所とも連携しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
支援プログラム	筋力が低下してきた利用者等に対し、継続的な運動機会の提供と体組成測定による効果測定を実施し健康生活を支援した。	歩行不安定な利用者に対し、ふれあいの家の更生相談を活用して理学療法士による転倒予防の指導を受け、日頃の活動内で助言を行った。 筋力低下、肥満・運動不足解消を目指しリカレントバイクの試行的な運用を開始した。	実施
サービスの紹介等	グループホームに関する講演会の案内や相談支援事業所との連携により、グループホーム利用体験 1 人、入居 1 人に繋がった。	グループホーム、成年後見制度、生命保険信託に関する家族勉強会を主催、延べ 51 人の家族が参加した。実績は見学 2 人、入居 1 人。	実施

○ 利用状況

区 分	R 7	R 6
就労移行支援事業	77人	0人
就労継続支援B型事業	6,686人	6,877人
日中一時支援事業	36人	78人

(7) ふれあいの家

<実施事業>

身体障害者福祉センター

(受託金) 107,752 千円 [110,850 千円] 111,308 千円

更生相談事業	機能訓練事業
社会適応訓練事業	創作的活動事業
スポーツ・レクリエーション事業	ボランティア養成事業
施設貸出、その他の事業	

○ 多様な障害種別・障害状況・年齢層など幅広い利用者に合わせた教室や地域交流の充実

障害者向け教室は、11種の通年教室に加え、多様なニーズ、既利用者や新規利用者など幅広い方が参加できるように、また、年度途中でも参加できるように短期教室として写真撮影会、写真講評会、藍染、俳句、水引、そば打ち、シーグラスアート、フラワーアレンジメント、マジック、卓球大会を計11種14回開催しました。

交流会については、利用者同士や一般市民の方が参加、交流できる行事として「ボッチャによる交流会」、「ふれあいフェスティバル」を開催し、また、ふれあいの家で活動しているサークルの活動発表と交流を目的とした「サークル発表会」を開催しました。さらに、手話交流会(手話講習会受講生と千葉県聴覚障害者協会の交流)や障害のある方もない方も映像を楽しめるバリアフリー上映会、地域の住民に対する車イス体験を実施しました。

その他、障害者の方の情報保障の支援を行うボランティア活動を学ぶ「手話」、「要約筆記」、「音訳」、「点字」の講習会や専門職(理学療法士、作業療法士、管理栄養士)による勉強会、講座を開催しました。

今後は、引き続き多様なニーズに応え、幅広い利用者の方が参加できるような教室の開催と、一般の市民の方も参加できる交流行事や地域交流の充実と交流を通して障害に対する理解を上げていけるような行事を実施していくことで、主催事業を利用する方の人数が増えていくように努めていきます。

区分	R 7	R 6	R 7目標値
短期教室	11教室	11教室	5教室
交流会	6回	4回	4回以上

○ 利用状況

区 分		R 7	R 6
生活訓練健康相談		4 7 1 人	6 3 6 人
機能回復訓練		3 8 4 人	4 2 2 人
巡回訓練		0 人	3 1 人
福祉バス		2, 4 1 4 人	3, 6 0 1 人
福祉カー		6 9 3 人	5 0 3 人
ヒアリンググループ		4 7 日	3 5 日
声の市政だより		7 3 6 人	7 6 3 人
体育室※		0 人	3, 4 0 8 人
その他施設の利用		9, 5 4 1 人	9, 5 1 5 人
主 催 事 業	創作的活動事業	7 3 7 人	7 8 8 人
	社会適応訓練事業	2 9 2 人	2 1 6 人
	ボランティア養成事業	2, 0 3 9 人	1, 6 2 2 人
	スポーツ・レクリエーション事業	1, 7 3 2 人	1, 5 6 6 人

※令和 7 年度は大規模改修工事のため体育室の使用は休止しています。

(8) 相談支援事業所ぱれっと

<実施事業>

(受託金) 46,257 千円 [42,754 千円]

47,860 千円

障害児相談支援	基本相談支援	計画相談支援
---------	--------	--------

○ 相談支援を必要とする新規利用者への対応

相談支援を必要とする新規利用者を受け入れました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
新規利用者の受け入れ	84 人契約	32 人契約	10 人契約

○ 職員の専門性の向上

各職員が加算対象となる質の高い支援ができるよう専門研修（医療的ケア児等コーディネーター養成研修）の受講を予定しておりましたが、実施されなかったため1人が未受講となっています。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
研修の受講	研修未実施	2 人受講	未受講者の受講

○ 利用状況

区 分	R 7	R 6
契約者数	634 件	623 件
新規契約	84 件	32 件
計画書（案）作成	682 件	631 件
計画書作成	663 件	606 件
モニタリング報告書作成	846 件	635 件
サービス提供時 モニタリング	208 件	190 件

(9) 千葉市発達障害者支援センター

＜実施事業＞

千葉市発達障害者支援センター運営事業

(受託金) 46,407 千円 [47,340 千円] 54,003 千円

千葉市発達障害等に関する巡回相談事業

(受託金) 25,362 千円 [23,309 千円] 25,523 千円

○ 地域支援体制の構築への取組み

子育てアシスト、ペアレント・トレーニングのリーダー養成研修を実施し、講師派遣・機関支援については、新たに研修動画のオンデマンド配信を開始し、対象・目的に応じて実施しました。これらの対外的事業を通して発達障害児・者支援を理解して、継続的に援助できる支援者の養成等地域支援体制の構築を目指しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
子育てアシスト	15 か所で実施	12 か所で実施	実施
リーダー養成研修	基礎研修を実施	基礎研修を実施	実施
講師派遣、機関支援	案内をホームページに掲載し、所管課を通して送付。 新たに研修動画のオンデマンド配信(1本)を開始。 講師派遣：26回 オンデマンド：87件 (個人92人) 機関支援：91件	年度当初にホームページへ掲載、所管課を通して案内を送付。 年間を通じて、ネットワーク会議や講師派遣時に改めて案内を配布。 講師派遣：37回 機関支援：94件	新たな実施機関・回数を増やす

○ 千葉市発達障害者支援センター運営事業利用状況

区 分		R 7	R 6
相談支援 発達支援	延べ支援件数	3, 0 0 4 件	2, 8 1 6 件
	情報共有等（調整会議）	2 2 件	1 6 件
	関係機関への助言 （連携先の機関）	5 0 5 件	3 6 7 件
相談支援 就労支援	延べ支援件数	8 9 8 件	1, 0 1 4 件
	情報共有等（調整会議）	5 件	7 件
	関係機関への助言 （連携先の機関）	1 1 1 件	1 3 9 件
	職場拡大のための企業等への 啓蒙活動	0 件	0 件
関係機関に 対する普及 啓発及び 研修	(1) 主催又は共催企画研修	4 9 9 人	5 7 9 人
	(2) 外部への講師派遣	2, 0 0 9 人	1, 6 8 7 人
	(3) 教育関係者を主たる対象 （(1)及び(2)の再掲）	4 4 9 人	3 0 6 人
関係機関等 との連携	(1) 発達障害者支援地域協議会	1 件	1 件
	(2) 自立支援協議会等への参加	1 2 件	1 3 件
	(3) 他の協議会への参加状況	1 7 件	1 2 件

○ 千葉市発達障害等に関する巡回相談事業

区 分		R 7	R 6
延べ訪問施設数		1 5 0 か所	1 6 9 か所
発達障害児等の発見数	延べ対象幼児数	2 3 1 人	2 5 6 人
	支援機関紹介人数	1 7 4 人	1 8 2 人
相談件数		2 9 3 件	3 0 2 件

＜実施事業＞

身体障害者福祉センター

(受託金) 74,138 千円 [74,147 千円] 75,397 千円

各種相談事業	日常生活訓練事業
社会適応訓練事業	スポーツ・レクリエーション、創作的活動事業
施設貸出事業	障害者等住宅改造相談事業
福祉機器関連事業	車いす貸出事業

○ 利用者ニーズに対応する講座の実施

障害者福祉講座の一層の充実を図るべく、アンケート等で要望のあった2講座(鍵盤ハーモニカ・はじめてのコーラス)を新規通年講座として開講しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
通年講座	2 講座開講	2 講座開講	2 講座開講

○ 障害者スポーツの普及啓発

利用者の体力維持増進、仲間づくりや障害者スポーツの普及と啓発を目的に、スポーツ系の通年講座を8講座、短期講座を2講座開講し、レクリエーションを目的としたスポーツ交流会を4回開催しました。また、サマーフェスティバル・ハーモニープラザフェスタにおいては、パラスポーツ体験会を開催し、障害の有無に関わらず、より多くの方に楽しみながらパラスポーツに興味をもっていただき、地域交流ができる機会を提供しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
スポーツ交流会等の企画	4 回	4 回	5 回
関係機関との連携企画	2 回	4 回	2 回

○ 利用状況

区 分		R 7	R 6
生活・訓練・健康相談 医師との面談		1, 968人	2, 041人
訓 練	理学療法	157人	193人
	作業療法	133人	119人
	言語・聴覚療法	239人	236人
	視覚訓練	14人	12人
貸 出 施 設	多目的ホール	10, 123人	8, 994人
	屋外スポーツ広場	1, 776人	1, 899人
	STT室	371人	819人
	会議室	481人	306人
	水浴訓練室	2, 090人	2, 082人
住宅改造		45人	26人
福祉機器展示コーナー		1, 682人	1, 772人
主 催 事 業	社会適応訓練事業 (外出体験・勉強会・教室)	38人	46人
	スポーツ・レクリエーション事業	1, 344人	1, 152人
	創作的活動事業	1, 484人	1, 300人
	短期講座	98人	181人

※ 6月～9月の間、空調設備の故障により STT 室と男女更衣室が使用中止となり、利用者数は減少しましたが、多目的ホール利用において、規模の大きいイベントを前年度と同様に招聘できたことや、福祉講座の見直しを行ったこと等により利用者数が伸び、前年度に比して総利用者数は増加しました。

＜実施事業＞老人福祉センター

(受託金) **578,829 千円** [596,974 千円] **602,913 千円**

生きがい活動支援通所事業

(受託金) **109,796 千円** [105,941 千円] **105,161 千円**

○ 利用者数の増加に向けた取組み

地域福祉部門や地区部会と連携して地域ニーズを把握し、各区の特性や施設のハードに応じて対策しました。また、eスポーツや複数のいきいきプラザ間をオンラインでつないだ講演会等を新たな事業として実施し、生きがい活動支援通所事業など各種事業の定員の充足や新規利用者の割合の増加、継続利用者の確保に努めました。加えて、情報発信にSNSなどITを活用した広報や関係機関との連携で事業宣伝できるルートを拡大し、広報活動を強化しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
利用者数	601,343人	562,566人	628,151人

○ 介護予防事業の多様化の検討

介護予防の客観的効果を可視化し、介護予防に関する意識の高揚を図るとともに、今後の事業展開に反映させるため効果を把握しました。また、地域福祉部門や地区部会等との連携により、介護予防に注力する施設ということを広く地域住民へ周知し、継続して介護予防に取り組む機会を提供しました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
講演会	159回	152回	18回
いきいき体操	565回	550回	300回
健康に関するイベント	100回	120回	30回

○ 地域における多世代交流等の推進に向けた取組み

地域福祉部門や地区部会と連携して、ふれあい・いきいきサロンや地域の高齢者グループを支援しました。また、地域の互助活動を進めるために、高齢者だけでなく、地域で暮らす多様な方々が交流できる機会を設けました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
新規の出張体操教室	1 2 4 団体	1 4 3 団体	2 4 団体
多世代等が交流するイベント	6 区	5 区	6 区

○ 老人福祉センター利用者数

施設名	R 7	R 6
中央	4 3, 1 5 3 人	3 9, 4 7 2 人
花見川プラザ	6 7, 7 4 2 人	6 7, 1 6 6 人
稲毛	7 7, 3 2 2 人	7 6, 3 3 2 人
若葉	4 3, 6 6 1 人	6 7, 3 2 3 人
緑	5 8, 5 4 3 人	5 5, 5 6 8 人
美浜	1 1 3, 8 0 4 人	8 5, 0 4 6 人
蘇我	2 6, 0 3 9 人	2 4, 0 3 1 人
花見川センター	2 1, 8 3 4 人	2 1, 5 7 7 人
さつきが丘	2 0, 1 5 5 人	1 8, 4 4 3 人
あやめ台	2 7, 5 3 6 人	2 3, 6 7 1 人
大宮	1 8, 2 6 1 人	1 8, 6 0 3 人
都賀	2 3, 1 3 6 人	1 8, 9 5 9 人
越智	1 9, 1 2 9 人	1 3, 8 4 8 人
土気	1 5, 8 3 8 人	1 5, 6 9 3 人
真砂	2 5, 1 9 0 人	1 6, 8 3 4 人
計	6 0 1, 3 4 3 人	5 6 2, 5 6 6 人

○ 老人福祉センター事業延利用者数

(単位：人)

施設名	生活 相談	健康 相談	ボデイア スクール	高齢者 福祉講座	高齢者 講演会	同好会	世代間 交流	浴室 利用	
中央	57	5,992	2,155	5,199	323	12,031	146	—	
花見川プ	94	5,219	2,082	5,733	451	10,566	679	15,518	
稲毛	35	4,066	2,293	5,502	457	23,097	140	11,015	
若葉	71	2,381	1,558	5,626	186	6,343	159	11,114	
緑	88	2,173	2,126	5,382	272	10,630	124	18,451	
美浜	27	2,105	2,220	6,236	123	27,494	155	—	
蘇我	22	4,139	624	1,177	183	8,557	398	—	
花見川セ	40	3,536	672	1,026	160	3,589	133	—	
さつきが丘	25	1,947	893	990	149	3,923	71	—	
あやめ台	50	2,021	718	1,043	447	3,029	221	—	
大宮	46	2,029	619	981	159	1,034	308	—	
都賀	20	1,806	620	964	257	4,252	151	—	
越智	32	2,097	845	1,019	405	3,120	273	—	
土気	29	1,639	759	1,189	179	2,380	135	—	
真砂	36	1,681	726	1,014	122	5,292	74	—	
合計	R7	672	42,831	18,910	43,081	3,873	125,337	3,167	56,098
	R6	956	39,668	19,174	42,035	3,738	122,607	2,969	61,389

○ 生きがい活動支援通所事業利用者数

施設名	R 7	R 6
中央	3,377人	3,068人
花見川プラザ	2,245人	2,242人
稲毛	3,782人	3,796人
若葉	1,960人	2,016人
緑	1,485人	1,827人
美浜	3,723人	3,422人
蘇我	2,924人	2,942人
花見川センター	3,658人	3,541人
さつきが丘	2,517人	2,620人
あやめ台	2,694人	2,980人
大宮	2,075人	1,577人
都賀	3,488人	3,458人
越智	1,812人	1,702人
土気	2,697人	2,499人
真砂	2,437人	2,478人
計	40,874人	40,168人

○ 地域福祉サービス事業利用者数

施設名	体操教室	出張教室※	出張測定会※	地区部会への 専門職派遣	
中央	441 人	737 人	2,078 人	580 人	
花見川プラザ	625 人	2,023 人	673 人	177 人	
稲毛	1,196 人	442 人	1,100 人	372 人	
若葉	492 人	2,096 人	1,348 人	746 人	
緑	484 人	374 人	1,073 人	62 人	
美浜	1,799 人	1,771 人	993 人	606 人	
蘇我	458 人	775 人	1,452 人	139 人	
花見川センター	293 人	1,048 人	299 人	220 人	
さつきが丘	202 人	596 人	25 人	452 人	
あやめ台	1,242 人	502 人	228 人	420 人	
大宮	142 人	1,799 人	655 人	63 人	
都賀	272 人	2,008 人	1,106 人	340 人	
越智	737 人	559 人	674 人	111 人	
土気	584 人	70 人	148 人	70 人	
真砂	602 人	630 人	122 人	391 人	
合計	R 7	9,569 人	15,430 人	11,974 人	4,749 人
	R 6	8,791 人	15,456 人	10,515 人	3,904 人

※出張教室及び出張測定会は、地区部会への専門職派遣も含めた数

○ おゆみ野ふれあい館利用者数

区 分	R 7	R 6
おゆみ野ふれあい館	7,418 人	7,155 人

いきいきプラザ内デイサービスセンター

<実施事業>

通所介護、通所介護相当サービス

(自主運営) 278,584 千円 [267,986 千円] 282,926 円

利用定員

施設名	定員
中央いきいきプラザ内デイサービスセンター	32人
花見川いきいきプラザ内デイサービスセンター	31人
美浜いきいきプラザ内デイサービスセンター	35人

○ 収入確保への取組み

日々の定員充足率、稼働率、目標金額を設定するとともに、目標達成に向け必要な対策を講じ、事業収入の安定確保に努めました。また、適用加算、利用者要介護認定区分、取得加算要件を継続的にモニタリングし収益確保に努めました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
定員充足率	95.5%	98.4%	100%
3施設平均の 1日あたりの収入 (年間収入)	303千円 (92,867千円)	290千円 (89,328千円)	247千円 (75,335千円)

○ 安定運営に向けた利用者の確保

重点

経営の安定化に向け、稼働率の向上を図るべく、関係機関との更なる連携強化により新規利用者の獲得及び継続的な受入れを行いました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
1日平均稼働率	87.9%	87.8%	85%
	中央区 26.6人 花見川区 28.0人 美浜区 31.5人	中央区 27.9人 花見川区 27.0人 美浜区 31.3人	中央区 27.2人 花見川区 26.3人 美浜区 29.8人

○ 非常勤職員の人材確保のための賃金アップとキャリアパス適正化

介護職員処遇改善加算等の取得を維持しつつ、配分ルールとキャリアパス（職務内容と経験等考慮）を有効活用し賃金体系の適正化に努めました。

区 分	R 7	R 6	R 7 目標値
人事評価とキャリアパスを連携	賃金体系システムの実施 資格手当実施	賃上げ実施 資格手当検討	人事評価制度を活用した賃金体系の実施

○ 通所介護利用者数

施設名	送迎	食事	入浴	個別機能訓練	口腔機能訓練	延べ利用人数	
中央	15,462 人	7,794 人	7,063 人	7,165 人	0 人	7,795 人	
花見川	15,985 人	8,006 人	7,065 人	6,134 人	0 人	8,009 人	
美浜	17,240 人	8,593 人	7,140 人	7,502 人	0 人	8,654 人	
合 計	R 7	48,687 人	24,393 人	21,268 人	20,801 人	0 人	24,458 人
	R 6	47,687 人	23,966 人	20,347 人	20,002 人	105 人	24,070 人

※口腔機能訓練については、利用希望者がいませんでした。

○ 通所介護相当サービス利用人数

施設名	送迎	食事	入浴	延べ利用人数	
中央	1,043 人	522 人	359 人	522 人	
花見川	1,025 人	514 人	435 人	514 人	
美浜	2,030 人	1,016 人	626 人	1,016 人	
合 計	R 7	4,098 人	2,052 人	1,420 人	2,052 人
	R 6	4,713 人	2,382 人	1,549 人	2,383 人

関連資料

社会福祉法人千葉市社会福祉協議会 組織図

2026/3/31



 社会福祉
法人 **千葉市社会福祉協議会**

〒260-0844

千葉市中央区千葉寺町1208-2

千葉市ハーモニープラザ3階

TEL: 043-209-8884

FAX: 043-312-2442

E-Mail: info@chiba-shakyo.jp